

条幅部自由参考

4月25日正午必着

明石春浦先生書



西風斷雁聲 落葉迴風舞
 人坐夕陽亭 空翠下如雨

(陳文述)

西風に雁の声もとぎれがちで落葉も風のまにまに舞う。夕陽さす山亭にいこえは、山の緑は雨ふる如く衣をうるおす。

明石幸子書



梅花落處疑殘雪

柳葉開時任好風 (杜審言)

梅花はちらほらと雪片の如くに散り、柳の葉は吹く春風になよくとなびいている。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。



森戸春濤書

紅蓮披早露 (王樞) ぐれないの蓮の花が朝露を受けて咲く。

翠深紅淺 (朱淑真)

翠は深く紅は淺し

「翠深く紅淺く已に愁を迎う」と。暮春の感懐である。

雲輕色轉暖 草綠晨芳歸
山墟罷寒晦 園澤潤朝暉

(柳惲)

雲輕くして色轉暖かに 草綠にして晨芳歸る
山墟に寒晦罷み 園澤に朝暉潤う

送陳法師赴上元 (皇甫冉)

陳法師が上元に赴くを送る 皇甫冉

延陵初罷講 建業去隨緣

延陵 初めに講を罷め 建業 去りて縁に隨う

翻譯推多學 壇場最少年

翻譯 多學を推し 壇場 最も少年

浣衣逢野水 乞食向人煙

衣を浣いて 野水に逢い 食を乞うて 人煙に向かう

遍禮南朝寺 焚香古像前

遍く南朝の寺に礼し 香を焚く古像の前

鉢の子に董たんばばこき交せて三世の佛に たてまつりてむ (良寛)

半紙部規定課題A

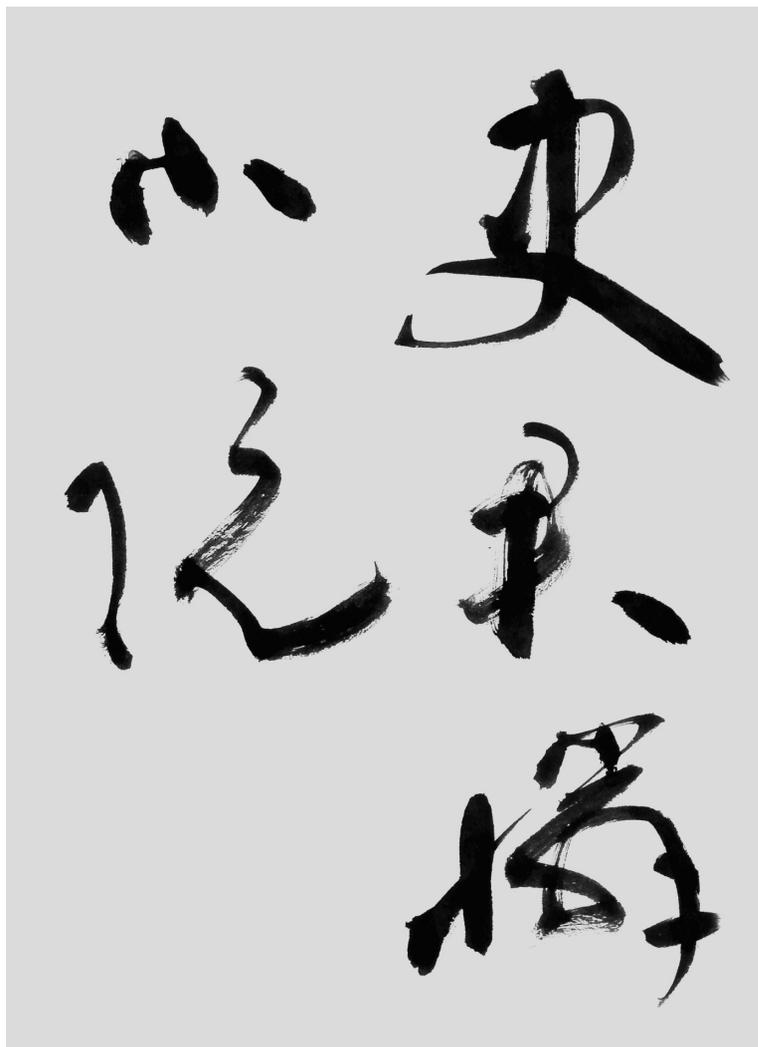
4月25日正午必着

小史
阮君
憐

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(五体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。



草書



行書



隸書



行草書



篆書

送王牧往吉州

謁史君叔

細草綠汀洲

王孫耐薄游

年華初冠帶

文彩舊弓裘

野渡花爭發

春塘水亂流

史君憐小阮

應念倚門愁

王牧が吉州に往いて史君叔に謁する
を送る

李嘉祐

細草 汀洲に緑に

王孫 耐く薄遊す

年華 初めて冠帯し

文彩 旧と弓裘し

野渡 花争って発き

春塘 水乱れつつ流る

史君 小阮を憐れむも

応に倚門の愁いを念うべし

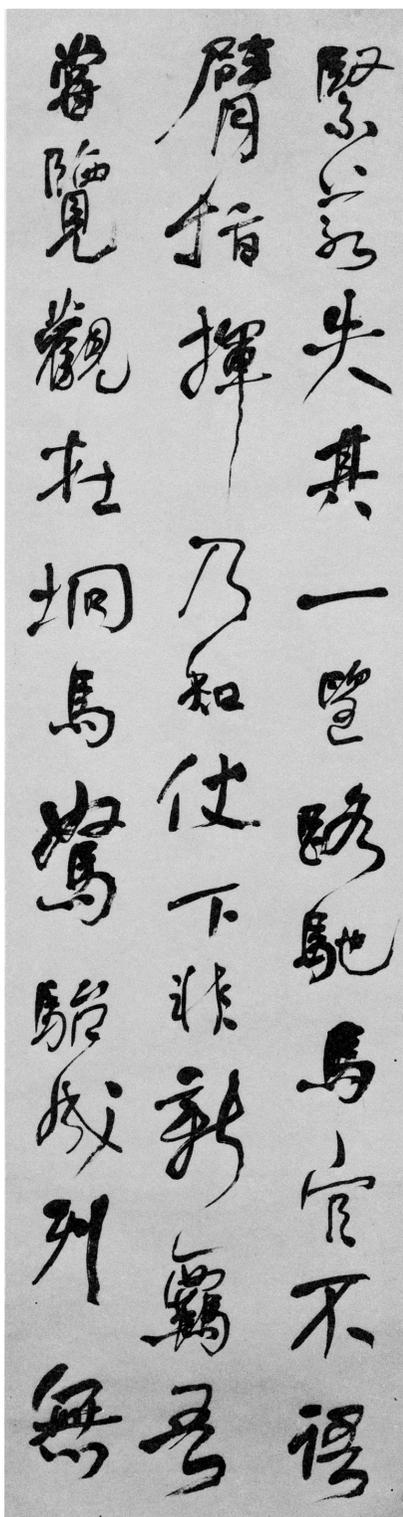
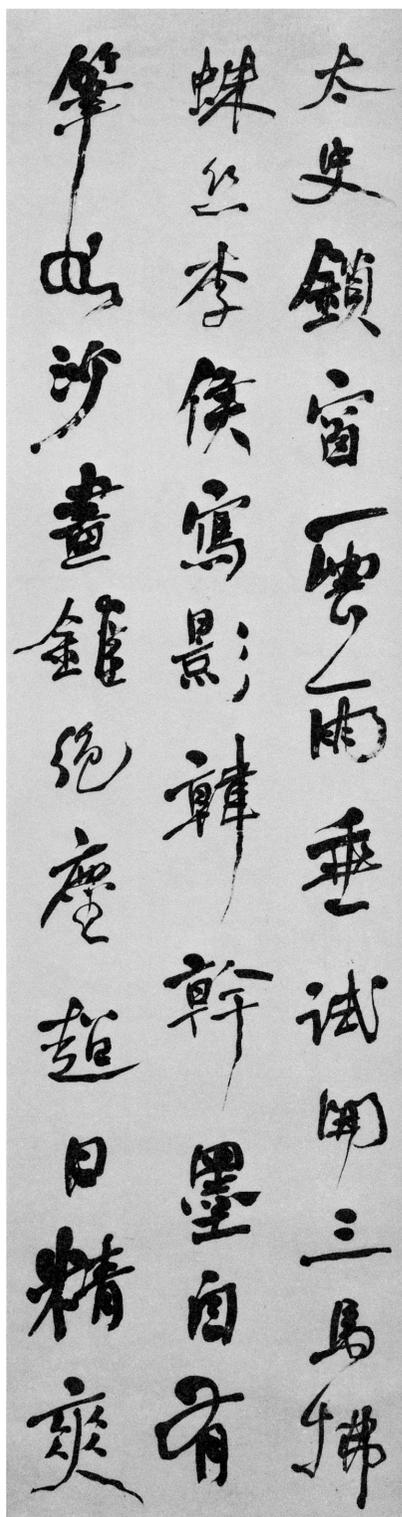
細やかな春の草が、川岸に緑に茂るとき この若者はけなげにも旅に出る

やっと元服して冠帯をつけたばかりのわかかわかさだが その文章の輝かしさは遠く父祖の業を受
けつぐ

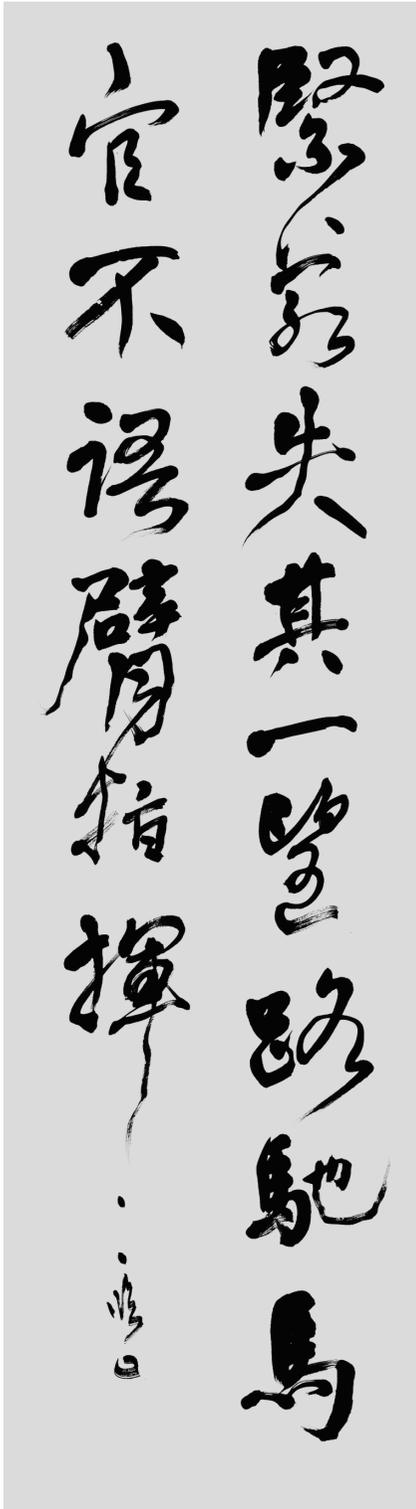
野中の渡し場に、花は妍を競って咲き 春の堤に水は乱れつつ流れる
太守は甥の君を可愛がってくれるだろうが 母堂が心配して待っているのを忘れてはいけない

4月25日正午必着

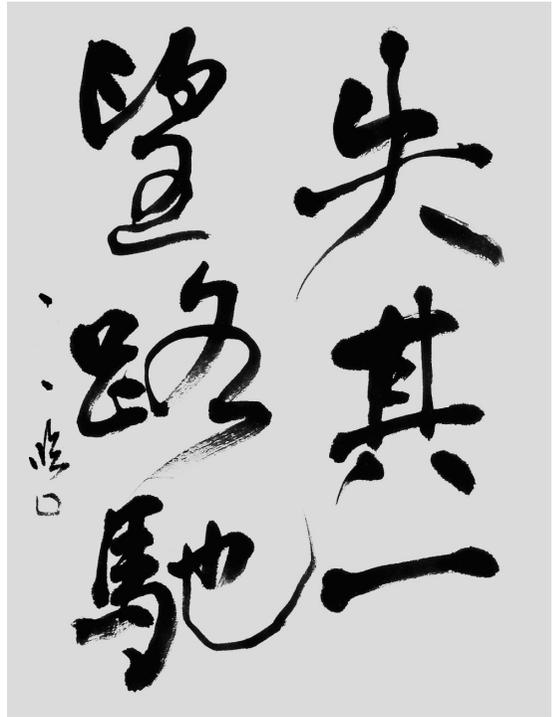
太史瑣窗雲雨垂試開三馬扠／蛛糸李侯写影韓幹墨自有／筆如沙画錐絶塵超日精爽
太史（黄庭堅）の瑣窓に雲や雨がたれる時、試みに三馬の絵を開いて蜘蛛の糸を扠う。李侯（公麟）が模写するのは韓幹の墨、自然に筆に錐で線をひいたよう。砂塵を立てず日を追いこし精神は緊張して、



緊若失其一望路馳馬官不誤／臂指揮乃知仗下非新羈吾／嘗覽觀在垆馬駑駘成列無
 その相手を失い路を望んで走るよう。馬役がものを言わず臂で指揮するだけで、鞭の下にある馬が新しく飼われたものでないと分る。私はいつか牧場にいる馬を見たことがあるが、驚馬が列をなしてすぐれたものはなかった。



その相手を失い路を望んで走るよう。馬役がものを言わず臂で指揮するだけで、



その相手を失い路を望んで走るよう。

清何紹基・畫馬贊

何紹基は湖南省・道州の人。字は子貞・東州と号し、後に援叟と号した。詩に熱中し、二十歳頃には一家の風を開く。二十四歳の時に北京で包世臣と交わったことが、金石研究の端緒となった。三十七歳で郷試に、翌年進士に合格し翰林院に入った。この時、指導官阮元から北碑唱導説を受け、北碑の研究に打ち込むようになった。

書風は父から「横平堅直」を受け、北碑・隸篆・鐘鼎文字まで広く学んだとされるが、根底には顔法があった。包・阮の感化を受け、書法の最後の練磨を漢碑の隸書に賭ける。特に「張遷碑」に力を尽くした。

楊守敬は彼の書について「世間の人は彼の天分がすぐれていることは知っているが、刻苦精励したということを知らない。彼の書を習うと軽佻になりやすいのは、学ぶ者の心が彼の精神的な深さに及ばないからである。」と述べている。

この畫馬贊は七言古詩一首を四屏に書したものである。見た目のイメージだけで臨書すると、散漫になり易く危険。廻腕直筆に構え、伸びやかで呼吸の長い連筆を心がけたい。(春廣)

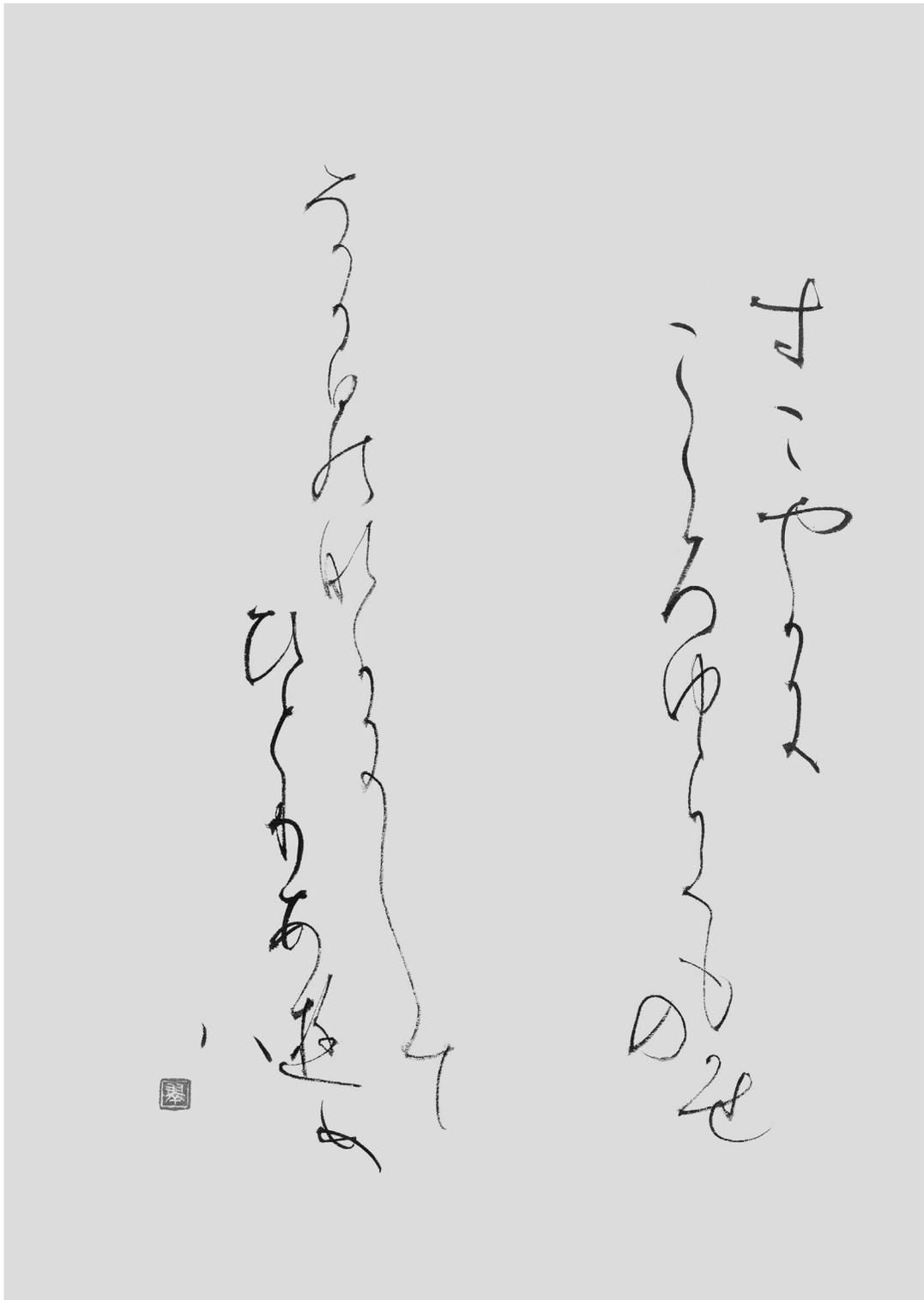
女慕貞絜男效才
良知過必改得能
莫忘罔談彼短
。 。 寫口

玄和細字用紙

※用紙サイズ：半紙 $\frac{1}{2}$ タテ書き（毛筆）・玄和細字用紙（25枚綴り ¥550 | 税込、送料別）

西 墨濤先生書

寸すこやかに
 可尔こゝろゆらくも
 可かぜのなか
 奈可日のなかにして
 能那可尔ひとりあゆめ
 利遊八ば
 (古泉千樞)



松永翠舟先生書



ち
稚

ぎょ
魚

中学一年

雨宮春聲先生書



えん
遠

せい
征

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



はな

ぼたけ

小学五年

榎戸春龍先生書



さん

せい

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

4月25日正午必着



ど て

小学三年

藤田幸春先生書



だん じょ

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

つ り 小学一年・幼年



森戸春濤書

まる 円 い 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

4月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

れる朝のなみ木道	青い波のようによ
----------	----------

小学五年

られている原始の森林	伝説が多いことで知
------------	-----------

小学六年

おとずれを感じる	芽ぐむ草木に春の
----------	----------

中学

われるような旋律	聴いているだけで心が洗
----------	-------------

一般(級位)

か〜だにえやはさしめしもの	も〜も知〜を造ゆる畏ひを
---------------	--------------

一般(段位)

かくとだに えやはいぶきの さしも草^{くさ} さしも知^しらじな 燃^もゆる思^{おも}ひを (百人一首・藤原実方朝臣)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

な	わ
た	た
し	が
ろ	し
い	の
く	よ
も	う

幼年

ん	は
で	と
き	が
ま	ー
し	わ
た	
	と

小学一年

を	つ
ー	め
口	た
の	い
ん	お
だ	ち
	や

小学二年

花	川
が	ぎ
さ	し
い	に
て	小
い	さ
る	な

小学三年

れ	さ
た	く
き	ら
れ	の
い	花
な	に
公	囲
園	ま

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。